

単元名 「 My Dreams for the Future 」 (第3学年 話すこと【発表】)

■本事例のポイント

1. 単元を貫く問い合わせを設定することで、常に単元目標に立ち返りながら、言語活動に取り組めるようにした。
2. 単元目標を達成するために役立つ表現、考え、意見等を共有し、自分に必要な表現を選び取りながら言語活動に取り組めるよう促した。

■単元の目標

よりよい未来の実現に向けて“Our Action in ○○ JHS for the Future”をテーマに、「私たちにできること」について後輩が行動を起こしたくなるようなメッセージを伝えることができる。

■単元の指導計画（9時間）

第1時

「単元の見通しをもつ」

- ・教科書本文の概要をつかむ。
- ・後輩へのメッセージ動画を録画する。（単元末との変容を見取るため）

第2～4時

「新出文法を用いた言語活動に取り組む」

- ・教科書のリスニング題材を活用し、生徒同士のやり取りにつなげる。

第5～8時

「『私たちにできること』について友達とやり取りする」

- ・教科書本文を学習者用デジタル教科書ややり取りを通して理解する。
- ・教科書本文から学んだことや本文から活用できる表現を参考に「私たちにできること」を伝え合う。

第9時 パフォーマンステスト

「後輩にメッセージを伝えよう」（録画）

■本時の概要

目標：教科書の登場人物のプレゼンテーションを読んで、よりよい世界の実現に向けて自分ができることについて伝え合おう。

①Small Talk



②New words & Reading



教科書は紙とデジタルを併用。

③やり取り→☆中間指導（学習調整含む）→やり取り ④振り返り



①Topic「What's an eco-friendly activity you do?」

* 単元目標に関連するトピックを各時間設定する。

②学習者用デジタル教科書の活用（新出単語・音読）

③単元を貫く問い合わせ「What can you do for a better future?」

☆中間指導：「相手が行動したいと思うこと」→身近でできることは何か？→もう一度表現を確認する時間をとる。→ペアを変えてもう一度やり取りを行う。

